

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長	秋元 弘和
消防-04	実施事業	消防施設整備事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 消防総務課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民及び消防職員等
意図	消防署所から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。
効果	災害を最小限に抑え、救命率の向上及び、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・腰越出張所改築工事に伴う補償費を見込んだが、平成30年度に完了したことから令和元年度の予算執行はなかった。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人口等の						
人口等の	人口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	2,826	0	当初予算(千円)	44,000		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	2,826	0	一般財源	44,000		
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	4,046	4,224	人件費(千円)	4,154		
事業経費	総事業費(千円)	6,872	4,224	総事業費(千円)	48,154		
	市民1人当りの経費(円)	39	24	市民1人当りの経費(円)	273		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	将来を見据えた消防署所・消防団器具置場の更新が喫緊の課題と考える。 災害に強い消防を目指し、質の高い安全・安心を市民に提供するためにも、消防機能の充実強化に努める。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	腰越出張所改築工事に伴う補償費を見込んだが、平成30年度中に完了したことから、課題は生じていない。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	課題はすでに解決しているため、取り組みは行っていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	消防庁舎(消防団器具置場含む)の老朽化状況を把握し、移転、改築の検討を行っていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防施設の整備状況					単位	-	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
消防団第27・28分団の耐震補強のため	目標値	-	-	-	耐震診断	耐震設計	未定			
	実績値	-	-	-	診断実施	設計実施	未実施			
	達成率	-	-	-	-	-	-			

指標の内容	消防施設の整備状況					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
消防庁舎の修繕等のため	目標値	-	-	-	-	80.0	85.0			
	実績値	-	-	-	-	80.0	85.0			
	達成率	-	-	-	-	100.0%	100.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--